

高知大学初年次「海外留学に関するアンケート」実施結果・分析

▶目的

2020年度から続く新型コロナウイルス感染症の現状は、学生のキャンパスライフに大きな影響を及ぼしている。コロナ禍で海外渡航が制限される一方、海外とオンラインでつながることができるIT環境が一層進み、留学のありかたや選びかたなど、留学を取り巻く環境は今、変化を続けていると考えられる。留学に関して、「高知大学グランドデザイン2030」のビジョンには、「希望者全員留学等の海外派遣を通じた国際性豊かな人材の育成」が掲げられている。希望する学生には、引き続き留学支援を行っていくことが求められている。そこで、今後、生活のあらゆる局面で「新たな常識」に向き合い、ニューノーマルの時代を生きる学生たちが、コロナ禍2年目の今、海外留学をどのように考えているのかを把握することが必要である。

以上のことより、特にコロナ禍の中で入学してきた学部1年生が、留学に関してどのように考えているのかを把握し、今後の留学支援のより良いありかたを検討することを目的としてアンケートを実施する。

▶調査対象

2021年度高知大学入学者 1,114名 (R3年5月1日時点)

(人文社会科学部 290名、教育学部 135名、理工学部 247名、医学部 174名、農林海洋科学部 207名、地域協働学部 61名)

▶回収率

67% (回答数 742名)

▶調査期間

2021年10月1日(金)～10月29日(金)

▶調査方法

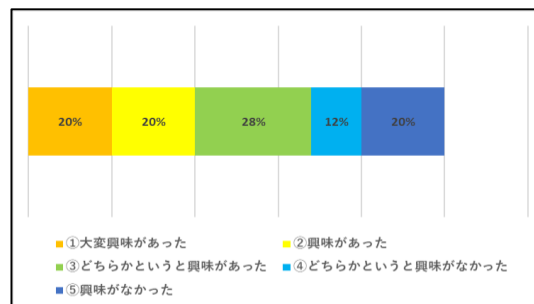
MoodleによるWebアンケート

▶過去の調査

	実施時期	対象	回収率	調査方法
第1回	2014年10月	2014年度入学者 1,124名	80.1%	授業でアンケート用紙配布
第2回	2018年10月	2014年度入学者 1,135名	94.2%	授業でアンケート用紙配布、 その場で回収
第3回	2020年10月	2020年度入学者 1,109名	79.7%	MoodleによるWebアンケート

Q1. 入学前、あなたの海外留学への興味をお聞かせください。

選択肢	割合	人数
①大変興味があった	20%	148
②興味があった	20%	152
③どちらかというに興味があった	28%	206
④どちらかというに興味がなかった	12%	89
⑤興味なかった	20%	147



回答者 742

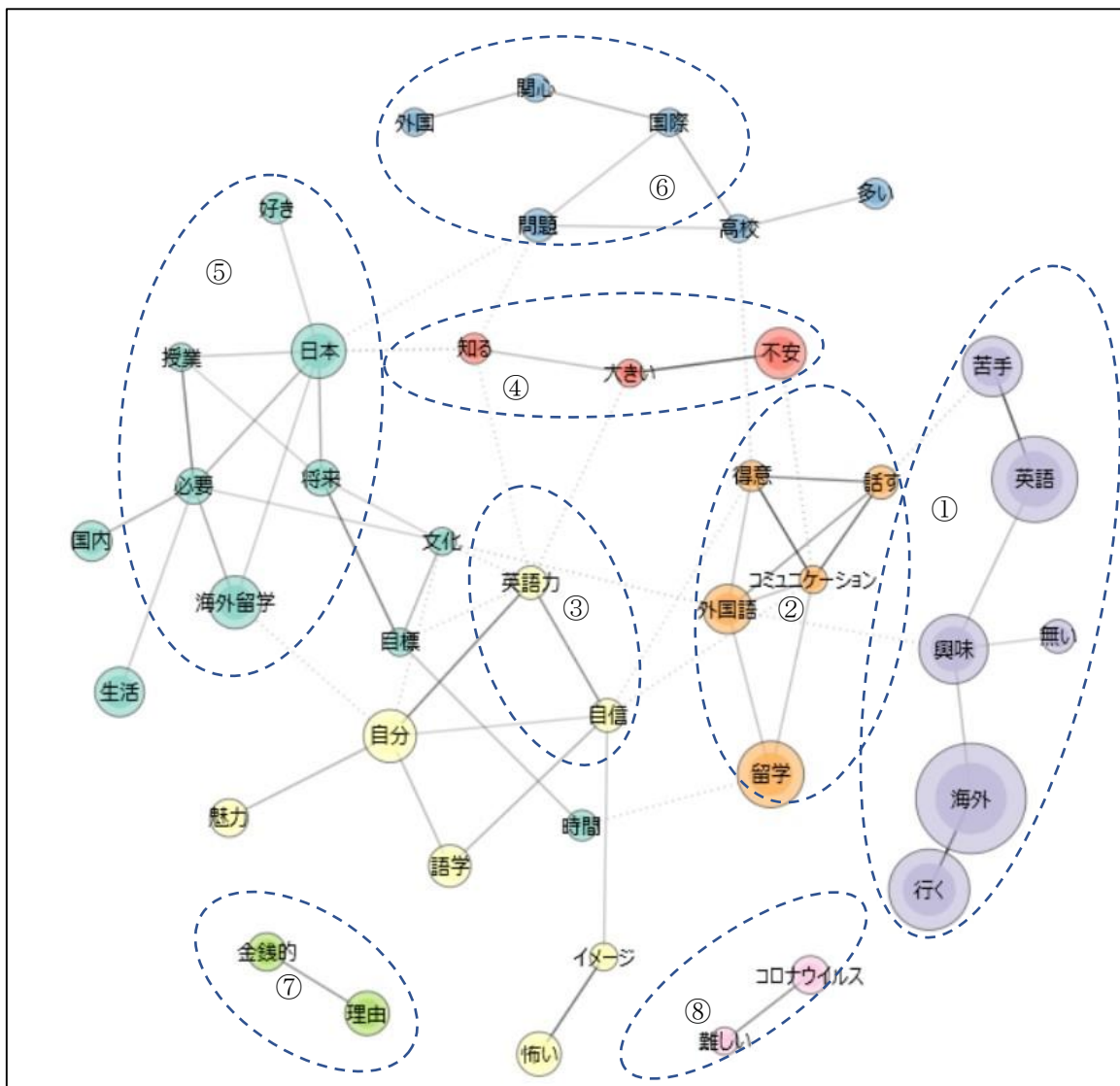
▶各学部別にみると、以下の通りである。

学部	①	②	③	④	⑤	人数計
人文	29% (61名)	21% (44名)	20% (41名)	11% (23名)	19% (39名)	208
教育	10% (10名)	20% (20名)	29% (29名)	14% (14名)	27% (27名)	100
理工	10% (14名)	18% (26名)	26% (37名)	15% (22名)	32% (46名)	145
農林海洋科	14% (18名)	20% (25名)	36% (46名)	15% (19名)	16% (20名)	128
医学部	30% (36名)	26% (32名)	33% (40名)	6% (7名)	5% (6名)	121
地域協働	24% (9名)	14% (5名)	30% (11名)	11% (4名)	22% (8名)	37
合計	148名	152名	184名	158名	140名	742

<考察>

選択肢の①大変興味があった、②興味があった、③どちらかというに興味があった、という肯定的な回答を合わせると 68%、506 名になる。コロナ禍の中、海外留学ができない状況が続いていたが、それでも 7 割近い学生が海外留学に興味を持って入学してきたことが分かる。学部別にみると、「①大変興味があった」に関しては、人文社会科学部、医学部の学生の割合が高いことが分かる。

Q2. 質問1で、④と⑤を選択した方は、理由を入力してください。



<考察>

「入学前、あなたの海外留学への興味をお聞かせください」に対して、「どちらかという
と興味がなかった」及び「興味がなかった」と否定的な回答をした自由記述 224 名分を共
起ネットワークで表示し、詳細は KWIC コンコーダンスで確認した。具体的には、KH Coder
に読み込み、総文数 246 文（総抽出数 3,039 語、異なり語数 447 語）が分析の対象である。

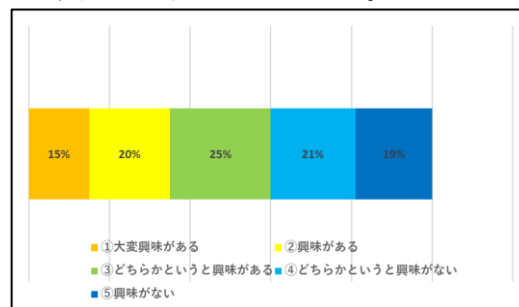
一番大きく描かれている、①「海外」に対して、「行く」、「興味」、「無い」とあるように、
学生は海外に興味がない、もしくは行きたいという気持ちがないということが示されてい
る。関連して、⑤にある「日本」、「好き」や「海外留学」、「必要」や、⑥の「外国」、「関心」
という言葉から、外国に関心がなく、日本が好きであり、自分の将来に海外留学の必要性を
感じていないと考えていることが理由であると考えられる。

また①の「英語」、「苦手」と同様に、②③には外国語でのコミュニケーションが得意でな

い点や、英語力への自信のなさが表れており、このことが④にある「不安」、「大きい」につながっていると言える。それ以外には、⑦にあるように留学費用に関する経済的理由や、⑧コロナウイルスの影響から、現状では留学は難しいと判断していることがわかる。

Q3. 入学して半年が過ぎました。現在の海外留学への興味をお聞かせください。

選択肢	割合	人数
①大変興味がある	15%	110
②興味がある	20%	150
③どちらかというに興味がある	25%	184
④どちらかというに興味がない	21%	158
⑤興味がない	19%	140



回答者 742

▶各学部別にみると、以下の通りである。

学部	①	②	③	④	⑤	人数計
人文	23% (47名)	19% (39名)	21% (44名)	19% (40名)	18% (38名)	208
教育	10% (10名)	18% (18名)	26% (26名)	21% (21名)	25% (25名)	100
理工	10% (15名)	15% (22名)	21% (31名)	25% (36名)	28% (41名)	145
農林	9% (11名)	21% (27名)	26% (33名)	28% (36名)	16% (21名)	128
医学	18% (22名)	28% (34名)	30% (36名)	18% (22名)	6% (7名)	121
地域	14% (5名)	27% (10名)	35% (13名)	5% (2名)	19% (7名)	37
全体	110名	150名	184名	158名	140名	742

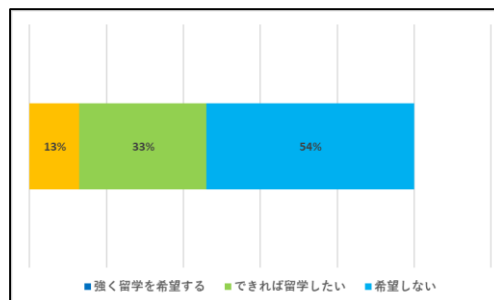
<考察>

入学して半年後であるが、①の「大変興味がある」は入学前の20%から15%に減っている(Q1の回答を参照)。一方「興味がある」は、20%と数値に変化が見られないが、「①大変興味がある」、「②興味がある」、「③どちらかというに興味がある」、を合わせると60%になり、入学前と比較すると全体的に8%程度減ったことがわかる。これは、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、留学への興味に変化が見られたものと考えられる。しかし、コロナ禍が続く中でも、留学に興味をもっている学生の数が多くも明らかである。

Q4. あなたは大学在学中に新型コロナウイルス感染症が終息したら、留学を希望しますか？（「A.強く留学を希望する」または「B.できれば留学したい」と回答した方はそのまま質問5へ、「C.希望しない」を選択した方は質問12へお進みください。）

選択肢	割合	人数
A. 強く留学を希望する	13%	98
B. できれば留学したい	33%	243
C. 希望しない	54%	401

回答者 742



▶各学部別にみると、以下の通りである。

学部	強く留学を希望する	できれば留学したい	希望しない	人数計
人文	21% (44名)	31% (65名)	48% (99名)	208
教育	7% (7名)	28% (28名)	65% (65名)	100
理工	3% (5名)	30% (44名)	66% (96名)	145
農林	8% (10名)	39% (50名)	53% (68名)	128
医学	21% (26名)	31% (37名)	48% (58名)	121
地域	16% (6名)	49% (18名)	35% (13名)	37
全体	98名	243名	401名	742

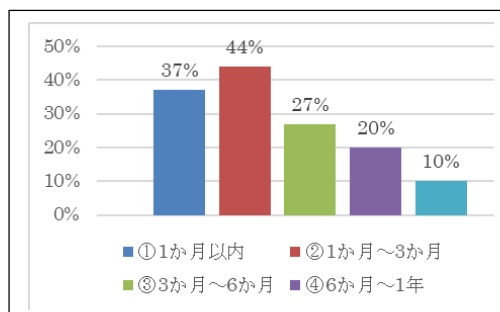
<考察>

2020年度は「強く留学を希望する」が10.4%、「できれば留学したい」が29.4%、「希望しない」が60.2%となっていた。昨年度と比較すると、今年度は在学中に留学したいという気持ちを持つ学生が少し増えていることがわかる。もちろん、昨年度と本年度において回答者数が異なることから、厳密な比較は難しいと思われるが、2年目を迎えるコロナ禍の中、大学在学中に新型コロナウイルス感染症が終息することを願い、留学を考えている学生が一定数いることは明らかである。学部別にみると、「①強く留学を希望する」に関しては、人文社会科学部、医学部の学生の割合が高いことが分かる。

Q5. どれくらいの期間、留学等をしたいと考えていますか？（複数回答可）

選択肢	割合	人数
①1か月以内	37%	135
②1か月～3か月	44%	161
③3か月～6か月	27%	99
④6か月～1年	20%	73
⑤1年以上	10%	37

回答者 363



<考察>

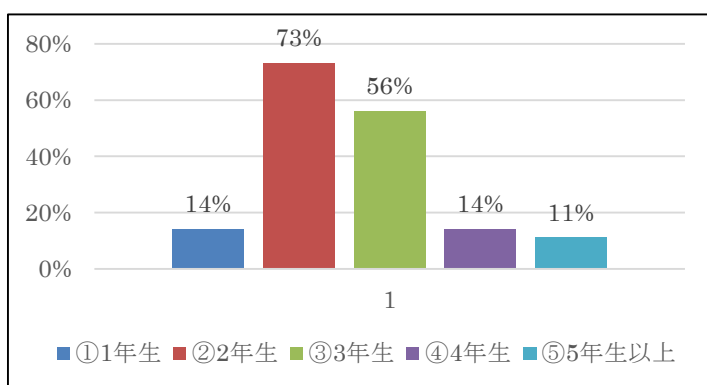
2020年同様に最も多かったのは、②の「1か月～3か月」の44%であった。2番目に多

いのが、①の1か月以内であり、③④⑤と期間が長くなるにつれて希望者数が減っている。このことから、3か月以上の長期留学よりも、短期留学を希望する学生の割合が多いことが分かる。また、Q20の「いつ参加したいですか?」の回答にあるように、長期休暇中の留学を想定していることとも関係していると考えられる。

Q6. いつ、留学をしたいと考えていますか? (複数回答可)

選択肢	割合	人数
①1年生	14%	52
②2年生	73%	262
③3年生	56%	200
④4年生	14%	52
⑤5年生以上	11%	39

回答者 360



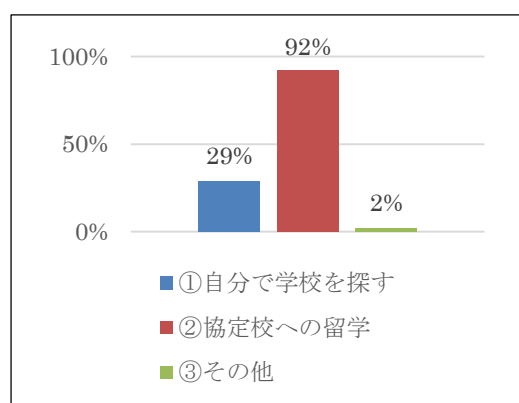
<考察>

2020年同様に多かったのは、2年生、次いで3年生での留学希望である。本年度は、73%が2年生、56%が3年生を選択していた。これはQ12の「留学しない(できない)理由があるとしたら、それは何ですか?」の回答である「②留学と就職活動の時期が重なるかもしれない」、「③留学したら、卒業が遅れるかもしれない」にあるように、就職活動や卒業に影響しない学年での留学を希望していると考えられる。

Q7. どのような手段で、留学を考えていますか? (複数回答可)

選択肢	割合	人数
①自分で学校を探す	29%	105
②協定校への留学	92%	334
③その他	2%	9

回答者 363



<考察>

2020年同様、今年度も「自分で学校を探す」と回答している学生は3割程度であり、多くの学生は留学の手段として協定校への留学を希望していることがわかる。このことより、協定校留学の情報提供、留学経験者からの情報提供や意見交換会などを検討していく必要があると考えられる。

Q8. 質問7で③その他を選択した方は、具体的な手段を入力してください。

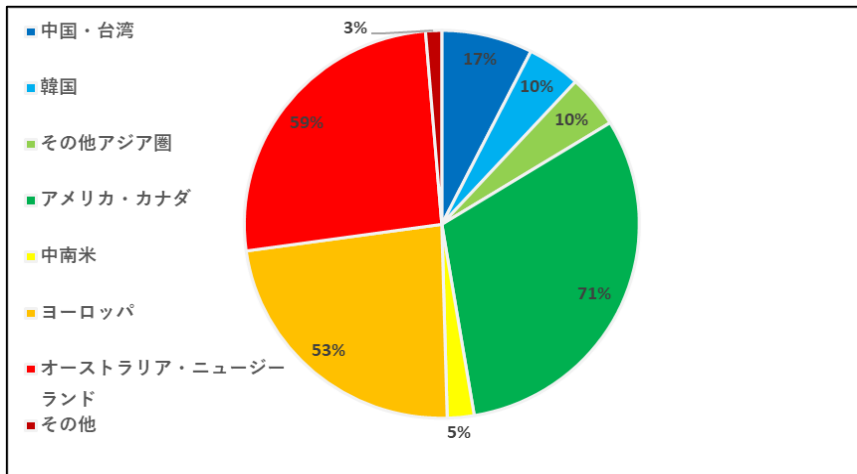
▶その他を選択した学生の回答は、以下の通りである。

- ・ワーキングホリデー
- ・交換留学みたいなことをしてみたい。
- ・大学卒業後、または卒論まで書いたあと一年休学して、留学する。その際、向こうの大学には通わず語学学校に通いながら、アルバイト等をして生活する。
- ・通っている英会話教室の留学プラン
- ・留学プログラム
- ・教授の方々から紹介していただく。
- ・大学の提携校から探したい。
- ・大学の先生や先輩方がおすすめしてくれる場所

Q9. どこに、留学をしたいと考えていますか？（複数回答可）

選択肢	割合	人数
①中国・台湾	17%	62
②韓国	10%	56
③その他アジア圏	10%	37
④アメリカ・カナダ	71%	259
⑤中南米	5%	20
⑥ヨーロッパ	53%	195
⑦オーストラリア・ニュージーランド	59%	215
⑧その他	3%	11

回答者 366



<考察>

2020年度同様、「④アメリカ・カナダ」(71%)、「⑦オーストラリア・ニュージーランド」(59%)、「⑥ヨーロッパ」(53%)の順で希望者が多い。この結果から、英語圏での留学を希望していることが分かる。それ以外の「①中国・台湾」、「②韓国」、「③その他アジア圏」、「⑤中南米」は全体の割合からは少ないものの、一定数の学生はアジア圏や中南米の留学も希望している。

Q10. 質問9で③その他のアジア圏を選択した方は、具体的な国・地域を入力してください。

- ▶その他を選択した学生の回答は、以下の通りである。
 - ・マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、ベトナム、タイ、東南アジア、インド、急成長している国

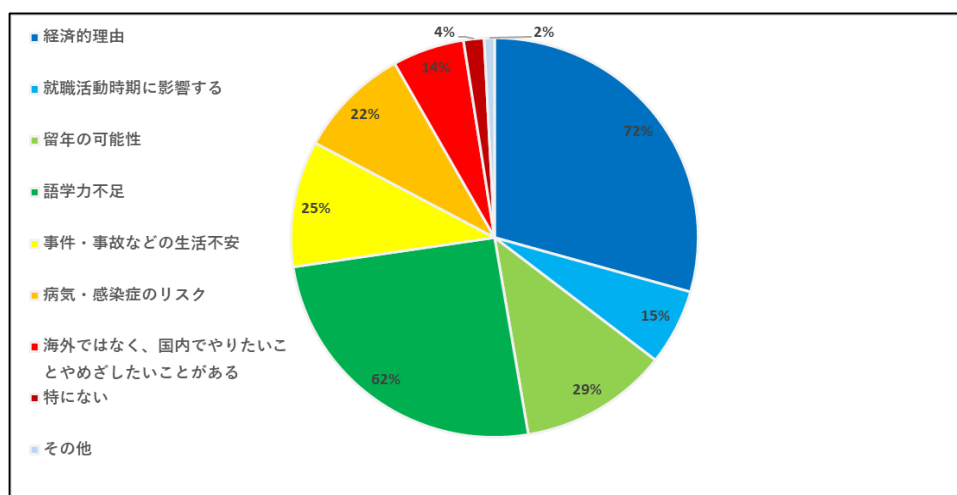
Q11. 質問9で⑧その他を選択した方は、具体的な国・地域を入力してください。

- ▶その他を選択した学生の回答は、以下の通りである。
 - ・ロシア、北欧、アフリカ、アフリカ北部、南アフリカ共和国、発展途上国のどこか

Q12. 全員に質問します。留学しない（できない）理由があるとしたら、それは何ですか？下記の中から最大3つまで選択できます。

選択肢	割合	人数
①留学にかかる費用が高く負担が大きい	72%	539
②留学と就職活動の時期が重なるかもしれない	15%	110
③留学したら、卒業が遅れるかもしれない	29%	215
④留学に必要な語学力が不足している	62%	459
⑤事件・事故など海外での生活に不安がある	25%	184
⑥新型コロナウイルスなど病気や感染症のリスクが怖い	22%	163
⑦海外ではなく、国内でやりたいことや目指したいことがある	14%	107
⑧特にない	4%	32
⑨その他	2%	16

回答者 742



<考察>

2020年同様、7割以上の学生が「①留学にかかる費用が高く負担が大きい」を選択している。これはQ14の「もし留学する（できる）としたら大学にサポートしてほしいことを最大3つまで選択してください」に対して「①奨学金等金銭的サポート」を6割以上の学生が選択していることとも関連している。コロナ禍の中、経済的負担を考慮して留学を断念した学生も一定数いることが考えられる。

次に6割以上の学生（459名）が「④留学に必要な語学力が不足している」を選択していることから、十分な語学力が不足していると判断し、留学できないと考えていることがわかる。これは、Q2の回答（入学前から海外留学への興味ない理由）としても挙げられていた外国語でのコミュニケーションが得意でないことや、英語力への自信のなさが影響していると考えられる。

また、②就職活動、③卒業が遅れる可能性、⑤海外での生活、⑥病気や感染症のリスク、

などの不安を抱えている学生も一定数存在する。上記以外には、⑦国内でやりたいことや目指したいことがあるため、留学を希望しない学生もいる。

Q13. 質問 12 で⑨その他を選択した方は理由を入力してください。

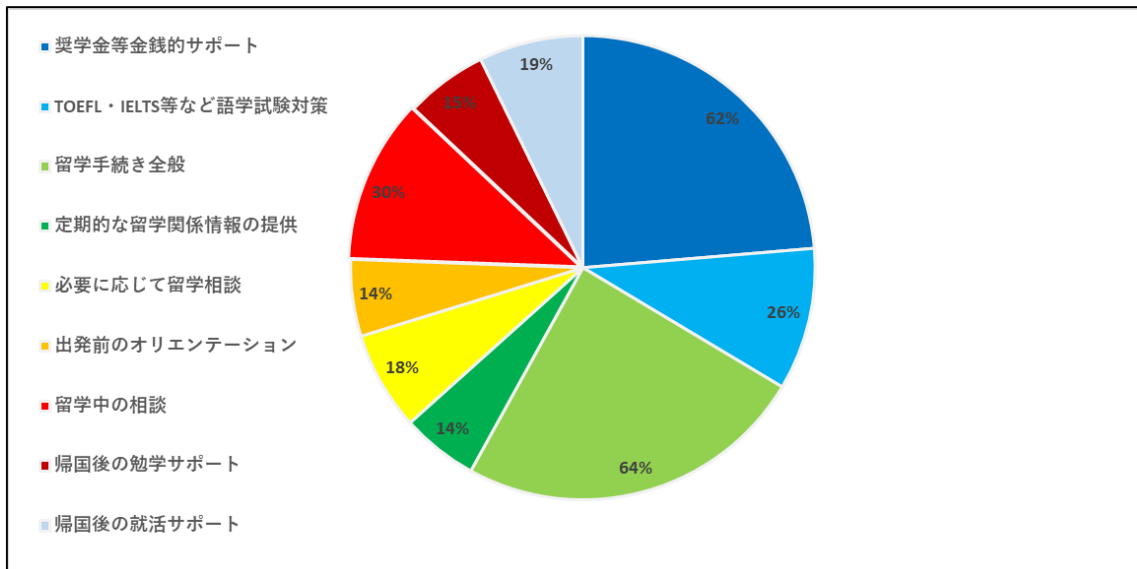
▶その他を選択した学生の回答は、以下の通りである。

- ・自分の経験のための場所へのこだわりがないから
- ・新型コロナウイルスの拡大によるアジア人への差別
- ・コロナウイルス関係で差別されるかもしれないから
- ・アジア人差別が最近活発なので進んで留学したいと思える環境ではない
- ・急な環境の変化が得意でなく、留学後勉学に取り組めるか不安があるため
- ・友達や家族に長く会えなくなる
- ・興味がない。
- ・どこまで大学側がサポートしてくれるのか分からない。もし、自分で留学先を手配した場合の大学内での進級などが不安
- ・治安
- ・留学せずとも必要な技術、経験が大学で身に付けられると思ったから
- ・海外でやりたいことが今あるわけではないから
- ・海外でこうしたことを学びたいという強い希望や目標などがなかったため
- ・留学するのであれば大学卒業後の留学を希望しているから
- ・授業が遅れる
- ・食生活など文化の違いに合わなそうだから

Q14. もし留学する（できる）としたら大学にサポートしてほしいことを最大3つまで選択してください。

選択肢	割合	人数
①奨学金等金銭的サポート	62%	465
②TOEFL・IELTS 等など語学試験対策	26%	193
③留学手続き全般	64%	478
④定期的な留学関係情報の提供	14%	103
⑤必要に応じて留学相談	18%	137
⑥出発前のオリエンテーション	14%	103
⑦留学中の相談	30%	226
⑧帰国後の勉学サポート	15%	115
⑨帰国後の就活サポート	19%	139
⑩危機管理や感染症対策に関する情報やサポート	13%	96
⑪その他	0%	2

回答者 742

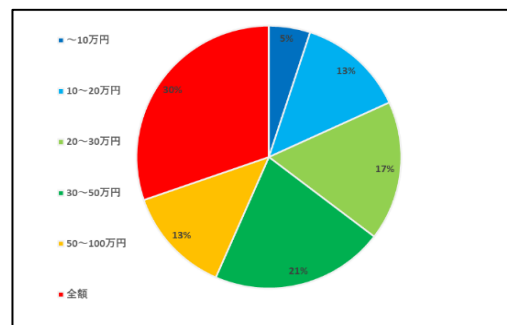


<考察>

2020年度で一番割合として多かったのは、「③留学手続き全般」であった。しかし、今年度は同程度の6割以上の学生が「①奨学金等金銭的サポート」も選択していることから、昨年度よりも金銭的なサポートを望む学生が増加した結果となっている。これは、昨年度から続くコロナ感染症の影響による経済的な問題が大きく関係していると考えられる。次いで「⑦留学中の相談」や「②TOEFL・IELTS など語学試験対策」が求められている。

Q15. 質問14で①奨学金等金銭的サポートを選択した方は、希望金額を入力してください。

選択肢	割合	人数
①～10万円	5%	21
②10～20万円	13%	61
③20～30万円	17%	77
④30～50万円	21%	97
⑤50～100万円	13%	59
⑥全額	30%	137



回答者 453

<考察>

2020年度では「④30～50万円」の割合が多かったが、今年度は「⑥全額」という選択肢が追加されたことで、3割以上の学生は⑥を選択し、次いで④という結果となっている。これも、コロナ禍が続いている状況より、経済的な要因が大きく留学に影響していることが分かる。

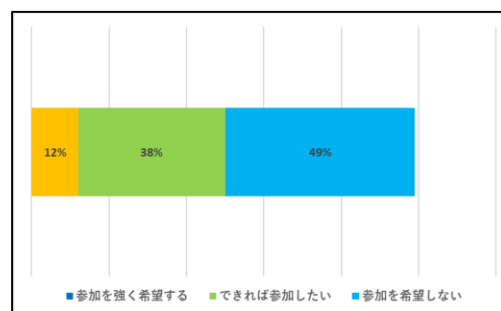
Q16. 質問 14 で⑩その他を選択した方は、大学にサポートして欲しいことを入力してください。

- ▶その他を選択した学生の回答は、以下の通りである。
- ・留学中も単位を取得できる様にする授業形態

Q17. あなたは、新型コロナウイルス感染症が終息したら、大学が実施する海外短期プログラムに参加したいですか？（「A.参加を強く希望する」または「B.できれば参加したい」と回答した方はそのまま質問 18 へ、「C.参加を希望しない」を選択した方は質問 24 へお進みください。）

選択肢	割合	人数
A.参加を強く希望する	12%	89
B.できれば参加したい	38%	286
C.参加を希望しない	49%	367

回答者 742



▶各学部別にみると、以下の通りである。

学部	A. 参加を強く希望する	B. できれば参加したい	C. 参加を希望しない	人数計
人文	17% (35 名)	40% (84 名)	43% (89 名)	208
教育	5% (5 名)	32% (32 名)	63% (63 名)	100
理工	6% (8 名)	32% (46 名)	63% (91 名)	145
農林	8% (10 名)	44% (56 名)	48% (62 名)	128
医学	21% (26 名)	40% (48 名)	39% (47 名)	121
地域	14% (5 名)	49% (18 名)	38% (14 名)	37
全体	89 名	286 名	367 名	742

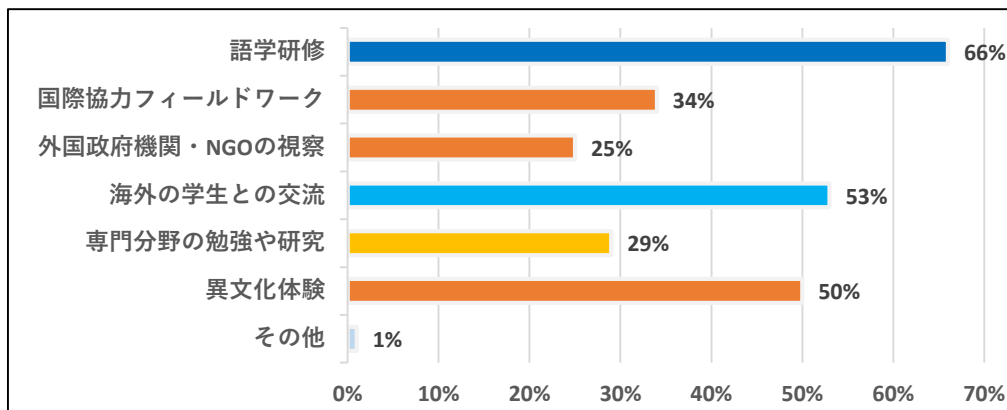
<考察>

2020 年度は「A.参加を強く希望する」、「B.できれば参加したい」合わせて 44.3%だったのに対し、今年度は 50%と昨年度と比較すると若干ではあるが、希望する学生が増えている。もちろん、昨年度と本年度において回答者数が異なることから、厳密な比較は難しいと思われるが、2 年目を迎えるコロナ禍の中、大学在学中に新型コロナウイルス感染症が終息することを願い、大学が実施する海外短期プログラムを考えている学生が多いことがわかる。特に、「参加を強く希望する」学生は 89 名、「できれば参加したい」学生は 286 名いる。「できれば参加したい」を回答した学生への期待に応えるためには、多様なプログラムの充実が求められることになる。

Q18. 目的・内容：どんなプログラムに興味がありますか？（複数回答可）

選択肢	割合	人数
①語学研修（英語・中国語・韓国語・その他）	66%	264
②環境問題や貧困問題に関する途上国でのフィールドワーク	34%	134
③外国政府機関・NGOの視察やインターンシップ	25%	99
④海外の学生との交流・ワークショップ	53%	211
⑤専門分野の勉強や研究	29%	115
⑥異文化体験	50%	199
⑦その他	1%	2

回答者 397



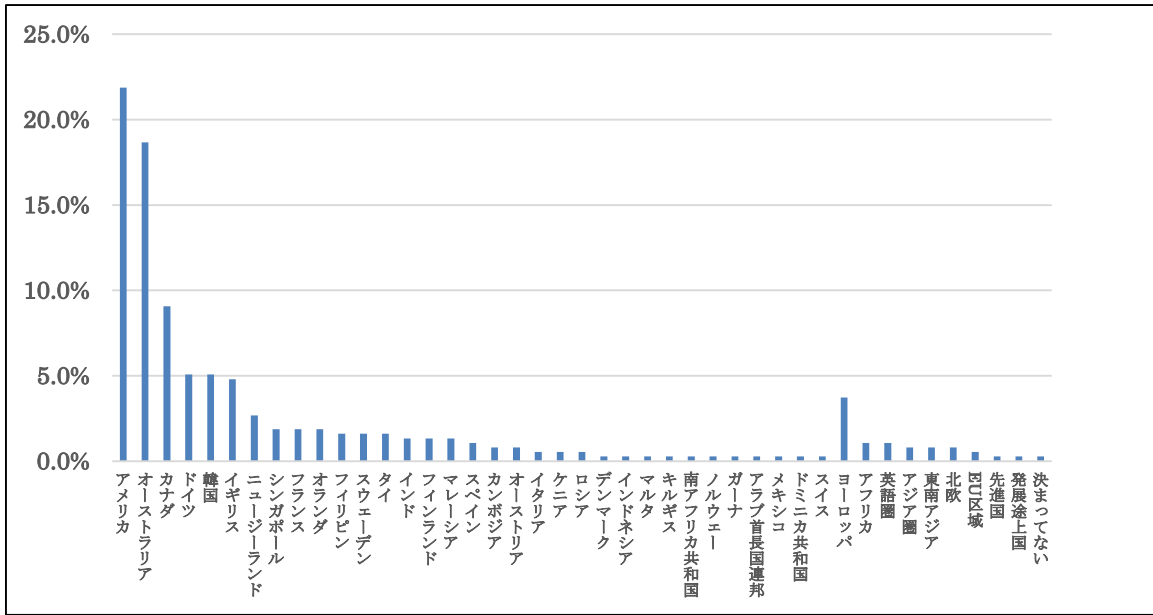
<考察>

2020年度同様に上位は、「①語学研修（英語・中国語・韓国語・その他）」が66%、「④海外の学生との交流・ワークショップ」が53%、「⑥異文化体験」が50%となっていることから、語学の向上につながるプログラムや交流、そして体験型のプログラムに興味を示していることがわかる。

Q19. 行きたい国や都市名を入力してください。

上位10カ国は以下の通りである。

- ・アメリカ 82名
- ・オーストラリア 70名
- ・カナダ 34名
- ・ドイツ 19名
- ・韓国 19名
- ・イギリス 18名
- ・ニュージーランド 10名
- ・シンガポール 7名
- ・フランス 7名
- ・オランダ 7名



Q20. 渡航時期：いつ参加したいですか？（複数回答可）

選択肢	割合	人数
夏休み中	75%	284
春休み中	60%	225
その他	9%	35

回答者 378

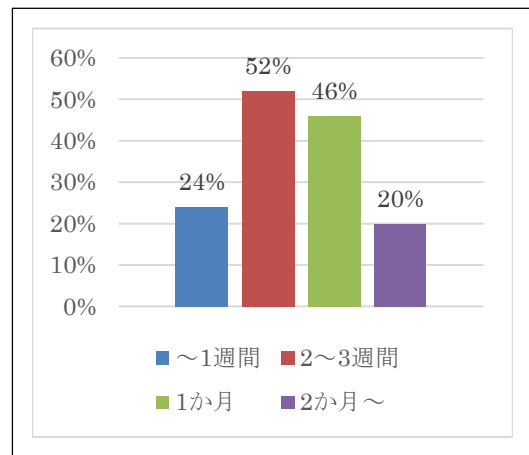
<考察>

2020年度同様に、「夏休み中」を選択した学生の割合が75%と高く、次いで「春休み中」が60%という結果となっている。年度途中を希望する学生の方が多いことより、年度末は次年度に向けた準備を優先しているとも考えられる。

Q21. 渡航期間：どのくらいの期間を希望しますか？（複数回答可）

選択肢	割合	人数
～1週間	24%	90
2～3週間	52%	195
1か月	46%	172
2か月～	20%	74

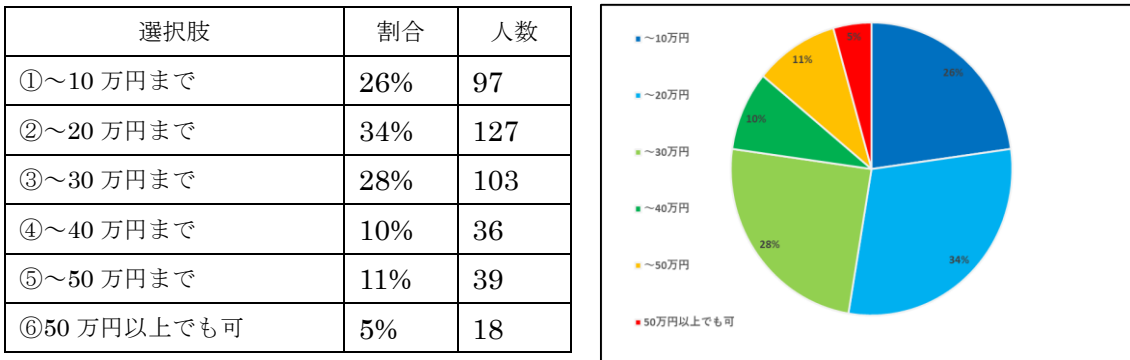
回答者 377



<考察>

2020年度同様に「2～3週間」を選択した学生が最も多く52%、次いで46%が「1か月」を選択している。Q20にあるように長期休暇中に参加できる期間を希望しているとも考えられる。

Q22. 予算：どの程度の金額だったら参加したいですか？（航空運賃含む）



回答者 370

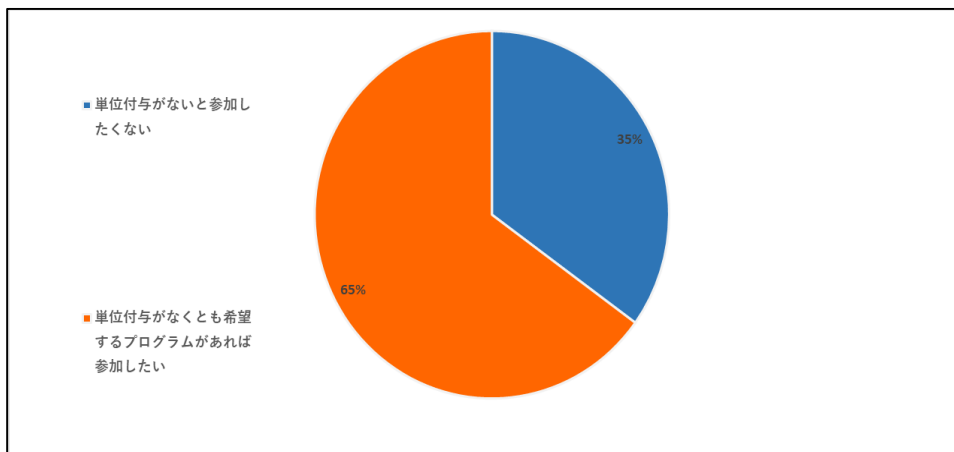
<考察>

2020年度同様の結果であり、「②～20万円まで」が34%、「③～30万円まで」が28%、「①～10万円まで」が26%となっており、高額ではない金額で参加を希望する学生が多いと言える。このことは、昨年度から続くコロナ禍の中、経済的要因が大きく影響していると考えられる。

Q23. 単位付与について

選択肢	割合	人数
単位付与がないと参加したくない	35%	112
単位付与がなくても希望するプログラムがあれば参加したい	65%	205

回答者 317



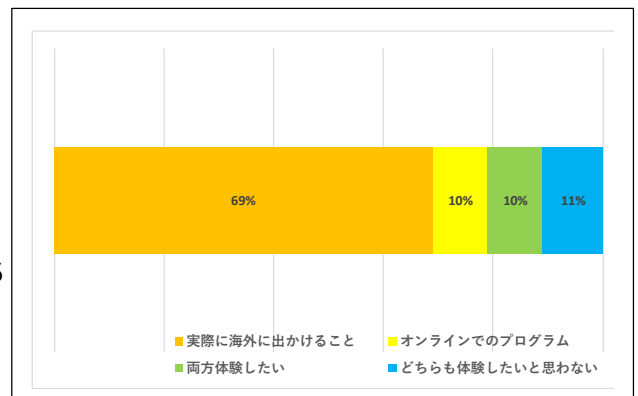
<考察>

2020年度同様に、一定数の学生は単位付与を希望している。35%の学生は単位の付与がなければ参加したくないを選択しているが、65%の学生は希望するプログラムがあれば単位の付与がなくても参加したいと考えている。このことから、プログラムの内容を重視していると考えられる。

Q24. 新型コロナウイルス感染症が終息した場合、実際に海外に出かけて経験すること、オンラインで体験できるプログラムとではどちらに興味がありますか。

選択肢	割合	人数
①実際に海外に出かけること	69%	382
②オンラインでのプログラム	10%	57
③両方体験したい	10%	53
④どちらも体験したいと思わない	11%	63

回答者 555



▶各学部別にみると、以下の通りである。

学部	①	②	③	④	人数計
人文	59% (122名)	6% (13名)	5% (10名)	9% (19名)	164
教育	42% (42名)	10% (10名)	8% (8名)	14% (14名)	74
理工	42% (61名)	11% (16名)	6% (9名)	8% (11名)	97
農林	56% (72名)	5% (7名)	6% (8名)	6% (8名)	95
医学	54% (65名)	7% (9名)	12% (15名)	7% (8名)	97
地域	54% (20名)	5% (2名)	8% (3名)	8% (3名)	28
全体	382	57	53	63	555

<考察>

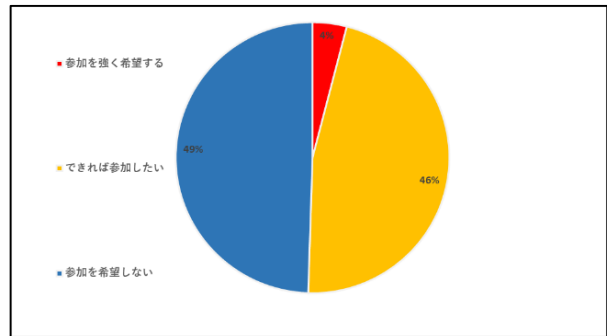
回答した382名の学生が、「①実際に海外に出かけること」、そして53名が、実際に海外に行くこととオンラインで体験できる両方のプログラムに興味をもっている。新型コロナウイルス感染症が終息した場合はオンラインプログラムよりも実際に現地に出かけて経験することに興味をもっている割合の学生が多いことが分かる。

一方、新型コロナウイルス感染症が終息した場合でも、海外に行くのではなく、オンラインで体験できるプログラムに興味を持っている学生も一定数いる。経済的な事情を考慮しているとも考えられるが、今後、オンラインで参加できるプログラムの提供、充実が求められることになる。

Q25. 留学や海外短期プログラムを、高知からオンラインで体験できるとすれば、あなたは参加したいですか？

選択肢	割合	人数
A.参加を強く希望する	4%	28
B.できれば参加したい	46%	346
C.参加を希望しない	49%	368

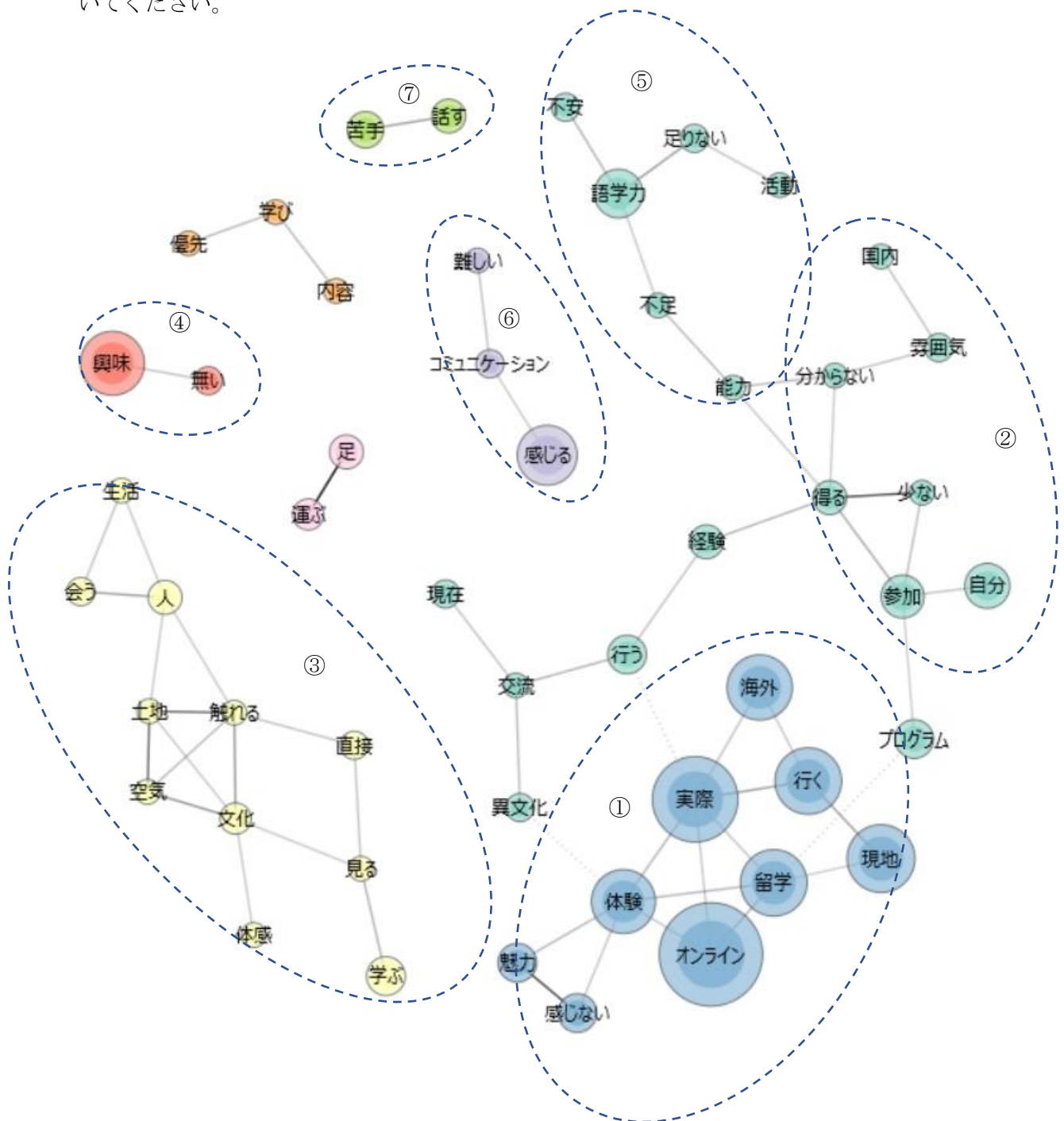
回答者 742



<考察>

2020年度から比較すると減ってはいるものの、「A.参加を強く希望する」、「B.できれば参加したい」合わせて374名の学生はオンラインの体験プログラムに参加したいと考えている。「できれば参加したい」を回答している学生の希望にこたえるためには、今後、オンラインでの受講が可能な留学や短期プログラムの提供が必要であると考えられる。

Q26. 質問 25 で C. 参加を希望しないと回答した方で、参加を希望しない理由があれば書いてください。



<考察>

「留学や海外短期プログラムを、高知からオンラインで体験できるとすれば、あなたは参加したいですか?」に対して、参加を希望しないと回答した学生の自由記述を考察する。「参加を希望しない理由があれば書いてください」の自由記述の内容 183 名分を KH Coder に読み込み、共起ネットワークで表示し、詳細は KWIC コンコーダンスで確認した。総文数 191 文（総抽出数 2,404 語、異なり語数 380 語）が分析の対象である。

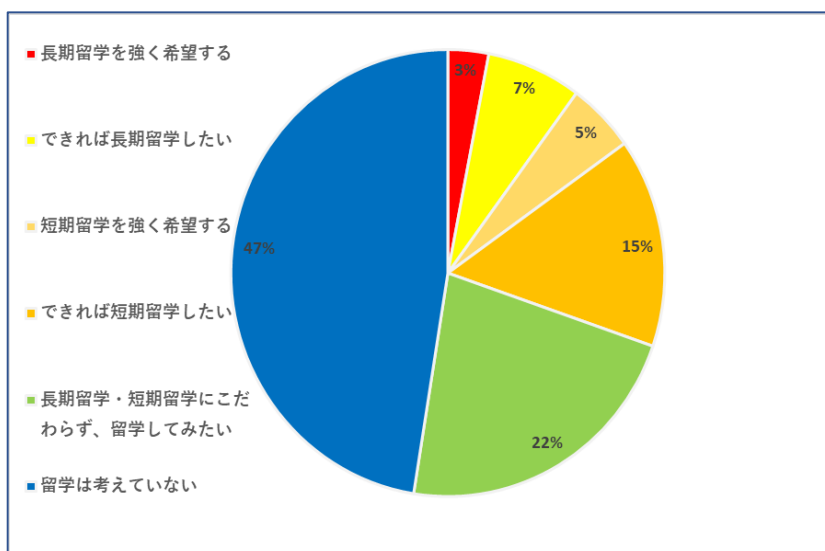
大きく描かれている①のまとまりの「オンライン」、「体験」、「留学」、「魅力」、「感じない」とあるように、学生はオンラインでの留学に魅力を感じておらず、実際に現地に行ってみようと考えていることがわかる。これは②の「雰囲気」、「分からない」や、③の「直接」、「触れる」、「見る」、「学ぶ」に表れているように、実際の雰囲気がわからないため、得られるものが少ないのではないかと考えている点や、直接その土地の文化に見て、触れて、学んでみたいという思いが表れている。

また Q2 の自由記述同様に、④では興味がない点、⑤⑥⑦では「語学力」、「足りない」や「コミュニケーション」、「難しい」のように、自分の英語力不足からコミュニケーションが難しいのではないかと考えていることがわかる。

Q27. あなたは、コロナ禍が続いた場合においても、卒業までに海外留学（長期、短期を含む）をしたいですか。

選択肢	割合	人数
①長期留学を強く希望する	3%	19
②できれば長期留学したい	7%	41
③短期留学を強く希望する	5%	26
④できれば短期留学したい	15%	86
⑤長期留学、短期留学にこだわらず、留学はしてみたい	22%	127
⑥留学は考えていない	47%	272
未回答	0%	0

回答者 571



<考察>

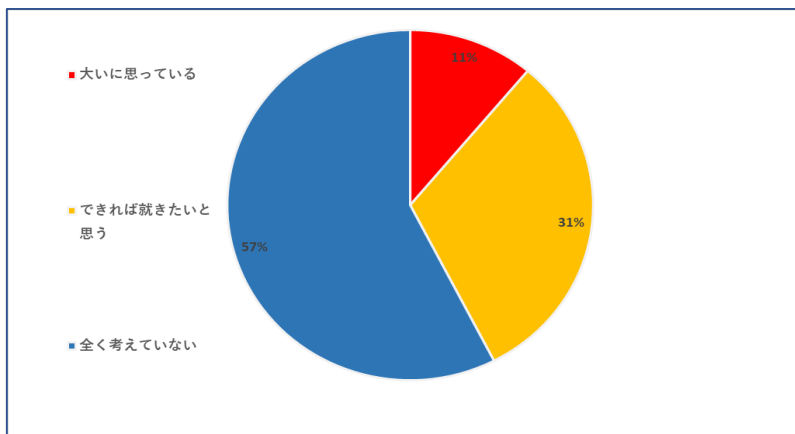
選択肢の①から⑤を合わせると、5割程度の学生は、コロナ禍が続いた場合でも何らか

の形で留学したいと考えていることがわかる。その中でも、「④できれば短期留学したい」、「⑤長期留学、短期留学にこだわらず、留学はしてみたい」の数が比較的多いことから、一度は在学中の留学を希望している。

Q28.将来、語学または国際的な知識や経験を活用した仕事に就きたいと思いませんか？

選択肢	割合	人数
大いに思っている	11%	84
できれば就きたいと思う	31%	233
全く考えていない	57%	425

回答者 742



<考察>

2020年度と比べると減少結果であったが、「大いに思っている」、「できれば就きたいと思う」を合わせると、317名の学生は語学や国際的な知識や経験を活かした仕事につきたいと考えていることが分かる。